



# 掛川市歴史的風致維持向上計画（概要版）

～歴史・文化・伝統を地域の誇りとして次代に繋ぐ～

計画期間 平成29年度(2017)から平成38年度(2026)

## 歴史まちづくり法とは

日本各地には、城や神社などの歴史上価値の高い建造物とその周辺における町家などの歴史的な建造物が残されており、そこで伝統的な祭礼行事や産業など、歴史や伝統を反映した人々の生活が営まれることにより、地域固有の風情、情緒、たたずまいを醸し出しています。

「地域における歴史的風致の維持及び向上に関する法律」（通称「歴史まちづくり法」）は、このような良好な市街地の環境（歴史的風致）を維持・向上させ、後世に継承するために、平成20年11月4日に施行されました。

## 歴史的風致とは

「地域におけるその固有の歴史及び伝統を反映した人々の活動とその活動が行われる歴史上価値の高い建造物及びその周辺の市街地とが一体となって形成してきた良好な市街地の環境」（法第1条）

江戸時代(天保年間)に描かれた事任八幡宮例大祭の神輿渡御絵巻

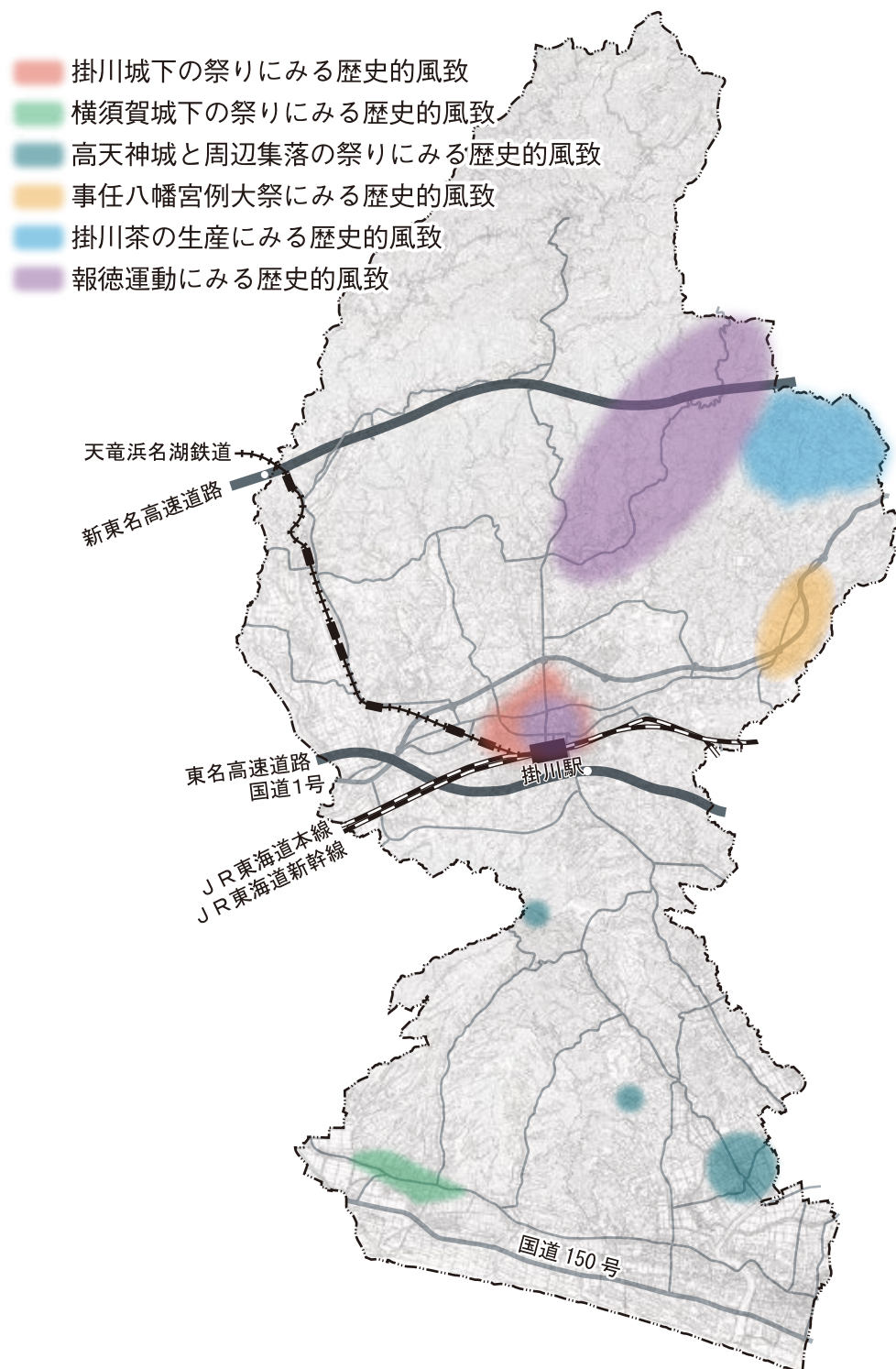


# 掛川市の維持向上すべき歴史的風致

本市は、戦国時代に掛川城、高天神城及び横須賀城の3つの城が築かれ、江戸時代になると掛川城下及び横須賀城下では城下町が形成されました。東海道沿いには掛川、日坂の2つの宿場町が栄え、交通・文化の中心地として発展しました。市内には当時の面影を残す歴史的建造物と、祭りなどが残されています。

明治維新前後には、倉真の岡田<sup>おかだ</sup>佐平治<sup>さへいじ</sup>と長男の良一郎<sup>りょういちろう</sup>が、掛川藩の復興事業として精力的に報徳運動を展開し、今も市民に受け継がれています。また、本市は古くから茶産地として有名で、平成25年(2013)には、伝統的な農法「静岡の茶草場<sup>ちやぐさば</sup>農法」が世界農業遺産に認定されました。

このような歴史的建造物と市民の織りなす伝統的な活動が一体となって、本市固有の歴史的風致が形成されています。





## 掛川城下の祭りにみる歴史的風致

掛川祭は、7つの神社の氏子が参加する合同祭礼で、中でも龍尾神社、神明宮、利神社の祭礼は、江戸時代から続いている。3年に一度の大祭のときには、瓦町の「かんからまち」などの三大余興が登場する。

掛川城御殿などの城下町・宿場町の歴史を伝える街並みと屋台、手踊り、獅子舞などが一体となって、良好な歴史的風致が形成されている。



## 横須賀城下の祭りにみる歴史的風致

横須賀城の城下町だった横須賀街道には、由緒ある神社や風情ある建造物が建ち並んでいる。

横須賀城主がこの地にもたらした江戸の祭り文化は、江戸時代から連綿と継承され、今日の三熊野神社大祭に至る。横須賀街道と祭り好きの「ねりきち」と呼ばれる人々によって、良好な歴史的風致が形成されている。



## 高天神城と周辺集落の祭りにみる歴史的風致

土方・中地区には、高天神城跡と6つの砦、城を守護する神社などが残り、祭りを通して郷土の歴史と伝統が伝えられている。

春に高天神社例大祭、秋に小笠神社の矢矧祭と八坂神社の祇園祭が行われ、周辺集落の人々の活動によって良好な歴史的風致が形成されている。



## 事任八幡宮例大祭にみる歴史的風致

日坂・八坂地区では、事任八幡宮のほか、旧東海道日坂宿の旅籠などが建ち並ぶ中、江戸時代から事任八幡宮例大祭が行われている。軒花で彩られた風情ある街並みの中、絵巻に残る神輿渡御などの伝統的なしきたりが引き継がれ、この地に良好な歴史的風致が形成されている。



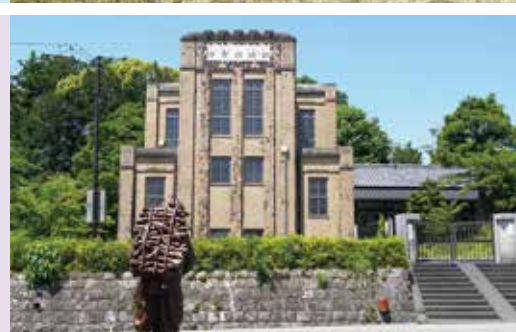
## 掛川茶の生産にみる歴史的風致

本市は、国内屈指の茶産地として知られ、特に東山地区とその周辺では、栗ヶ岳の「茶文字」のもと、丘陵地を利用した茶畑と明治期から残る農家住宅がモザイク状に点在している。茶への感謝と、伝統的な農法が脈々と受け継がれ、自然と共存した良好な歴史的風致が形成されている。



## 報徳運動にみる歴史的風致

本市の報徳運動は、江戸時代末期から始まり、大日本報徳社大講堂で長年続けられている常会によって市内に広がり、現在のまちづくりにつながっている。至誠・勤労・分度・推譲の教えが市民に根付き、地域のための活動により、良好な歴史的風致が形成されている。





# 歴史的風致の維持向上に関する方針

## 【歴史的建造物】に関する方針

- 未指定の歴史的建造物の保存と活用
- 所有者や管理者の負担軽減

## 【城跡】に関する方針

- 計画に基づく国指定史跡の保全、環境整備
- 関連遺跡の保存と活用

## 【歴史や伝統を反映した活動】に関する方針

- 伝統芸能などの継承活動の支援、情報発信
- 市民が一体となった茶産業の維持継承
- 報徳運動への関心の深化

## 【歴史的建造物の周辺環境】に関する方針

- 建築物や屋外広告物などの規制誘導
- 建造物などの外観修景、除却
- 周辺の景観に調和した公共空間の整備

## 【歴史文化資産に係る情報発信や周遊性】に関する方針

- 歴史文化資産の整理、積極的な情報発信
- 歴史文化を活かしたまちづくり活動の発展
- 歴史文化資産の周遊環境の向上
- 掛川城周辺の施設の連結、環境の整備

# 歴史的風致形成建造物

重点区域内において歴史的風致の維持向上のために保存を図る必要がある建造物を、所有者の同意を得て、「歴史的風致形成建造物」として指定します。

## ▼歴史的風致形成建造物の指定候補（一部）



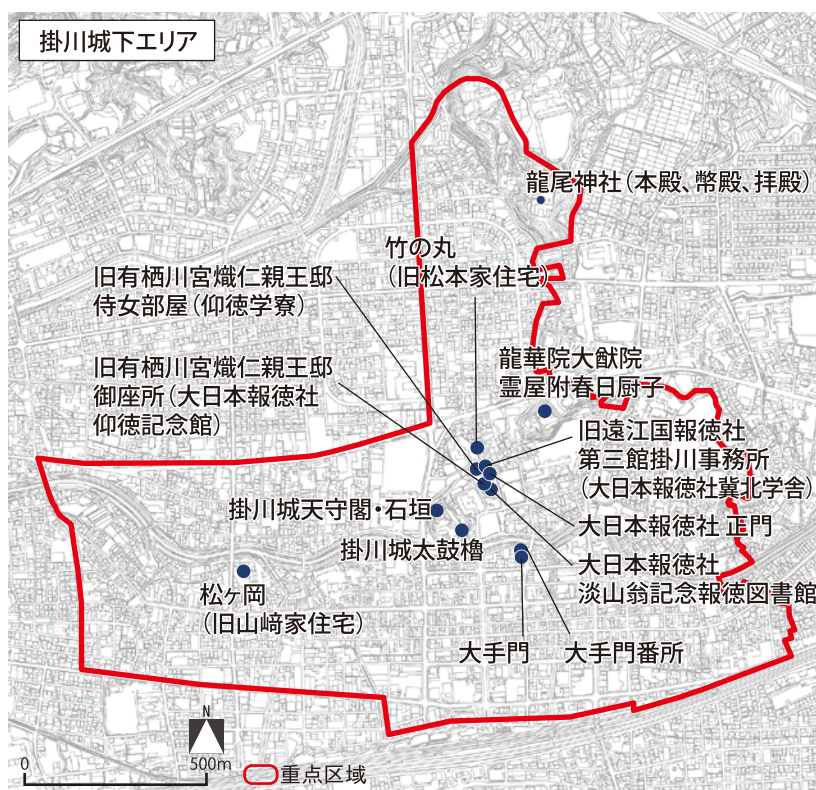
掛川城天守閣



松ヶ岡 (旧山崎家住宅)



清水家住宅



## 松ヶ岡修復

### 1 概要

#### 目的

松ヶ岡（旧山崎家住宅）は、安政3年（1856年）に建築され、時代の流れとともに増築や改修が繰り返されて現在に至っており、経年劣化や風雨による傷みが激しく、雨漏りや腐朽が進んでいる。

貴重な文化財であり、歴史的風致形成建造物に位置づけられた松ヶ岡主屋・長屋門等を後世に永く保存し、往時の姿に復原するとともに、まちづくりの重要な拠点として活用を図るため、敷地内の建物の保存活用工事を行っていく。

#### 内容

往時の姿への復原を基本とし、屋根瓦の葺き替えや腐った木部の修理、壁の塗り直しなどを実施する。

引き続き使用できる部材はなるべく使い、腐った部材は取り替えや継ぎ足しにより修理を行っていく。

公開・活用に向けて、消防設備や来場者用トイレ等の便益設備も敷地内に整備する。

#### その他

文化財の修理工事では、建築当時の同じ材料同じ工法で実施するのが基本である。

しかし、松ヶ岡は当初の建築以降、増築や改修を繰り返しているため、壁などを解体し内側を調査しないと過去の状況が判明しない。

そこで、工事の進捗よくに合わせて、これまで不明であった天井裏・床下・壁裏などの状況を調査し、その結果を踏まえて適宜修復の内容を見直していく。



工事前写真 主屋東側

### 2 松ヶ岡平面図

#### 令和2年度実施内容

- ・主屋の修復

#### 令和3年度実施内容

- ・主屋の修復

#### 令和4年度実施内容

- ・主屋の修復

#### 令和5年度実施中

##### 主屋・長屋門等の修復

##### 主屋

- ・壁仕上げ工事
- ・建具修理工事
- ・電気機器、機械設備の取り付け
- ・素屋根の撤去

##### 長屋門、米蔵、前庭等

- ・素屋根の設置
- ・屋根瓦、破損木部等の取り替え
- ・屋根瓦の葺き替え
- ・木部の修理、新設
- ・破損壁の修理

#### 令和6年度実施予定 長屋門等の修復

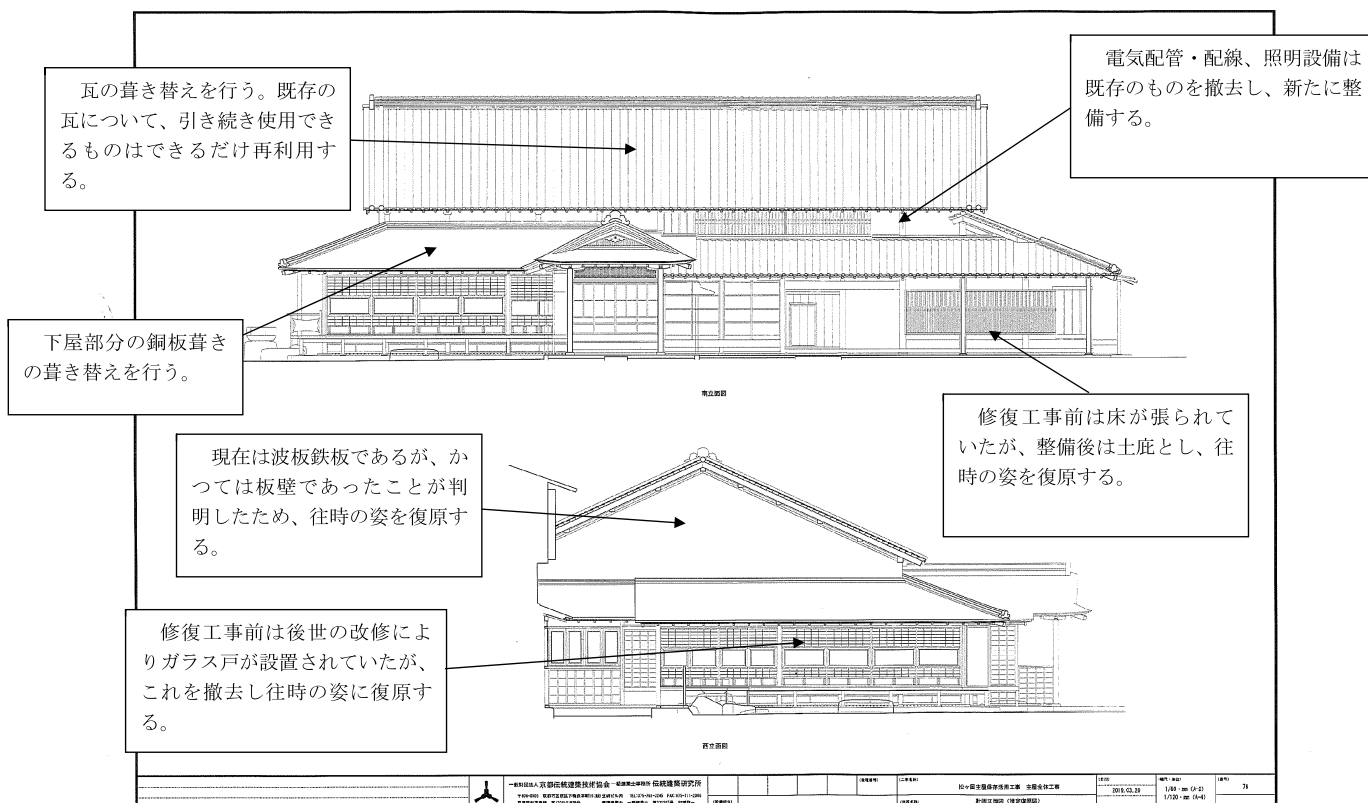
##### 長屋門、米蔵、前庭等

- ・屋根瓦の葺き替え
- ・木部の修理、新設
- ・破損壁の修理、仕上げ
- ・雨樋取り替え
- ・建具の修理、新調
- ・前庭地盤整備
- ・門、袖塀の復旧整備
- ・素屋根の撤去





### 3 整備イメージ



令和2年度、主屋工事の際に取り解きを行った門・脇塀の復旧および整備を行う。

掛川城天守修復

1 概要

目的

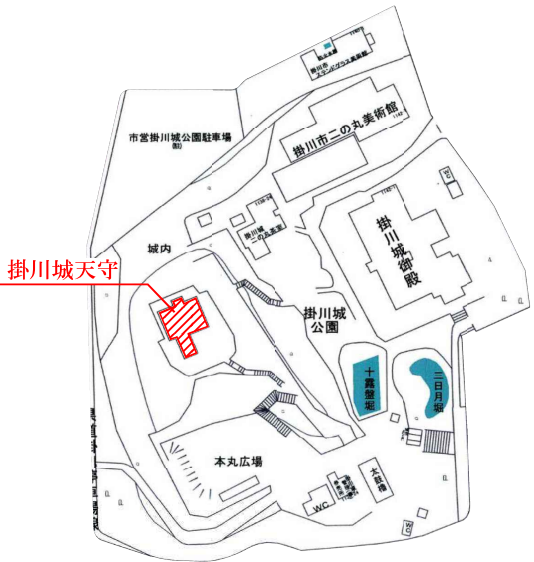
掛川城天守は、平成6年に日本で最初に本格木造で復元され、東海の名城としてよみがえりました。復元事業費のほとんどが市民募金によるものです。現在は、掛川市のシンボルとして市民に親しまれています。

復元から25年が経過しており、漆喰等に傷みや劣化が多くみられるようになってきました。天守の壁から漆喰が浮いていることがわかっており、台風等の強い風雨にさらされるなど、衝撃が加わるとまとめて剥がれ落ちる可能性があります。また、天守廻縁の木材の腐食が激しく、復元当初は廻縁にも立ち入ることができましたが、現在は立ち入りできない状態となっています。

今後、掛川市の貴重な歴史的建造物として50年、100年先へ伝えていくために修復工事を行っていきます。

内容

天守の漆喰壁を土佐漆喰で修復するとともに、廻縁を修復して立ち入ることができるようにする。

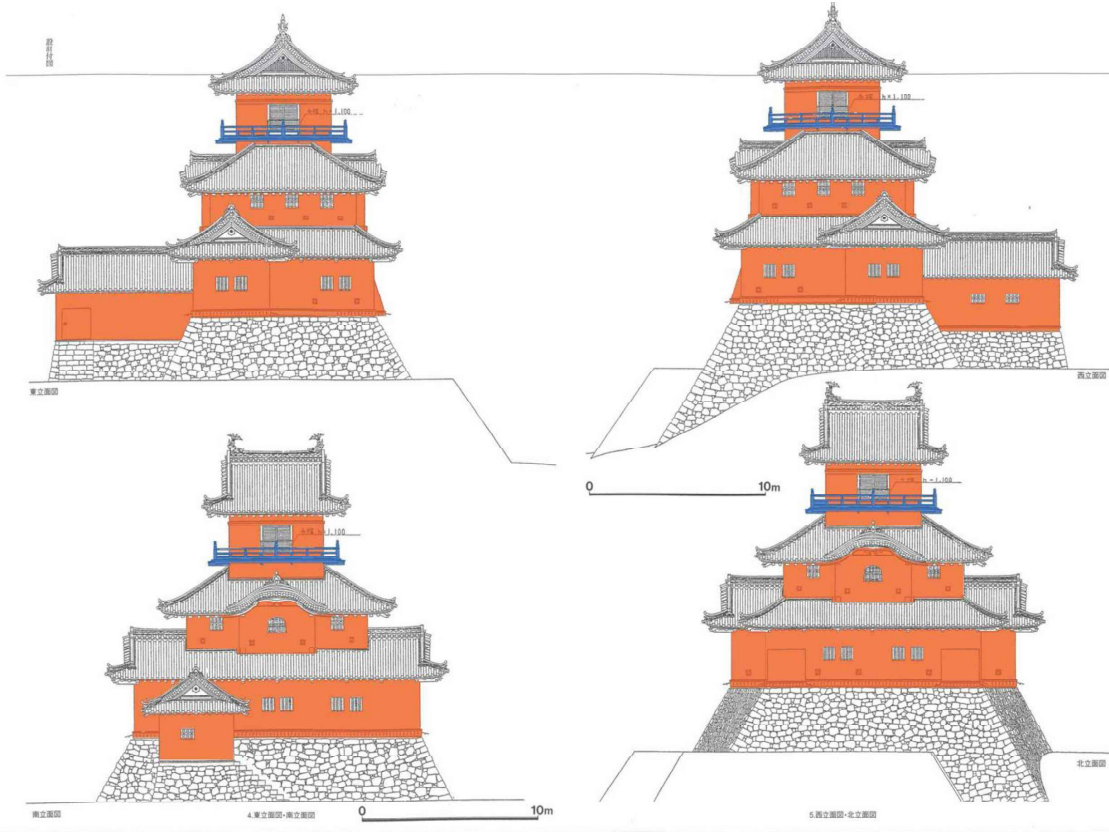


掛川城 周辺敷地図

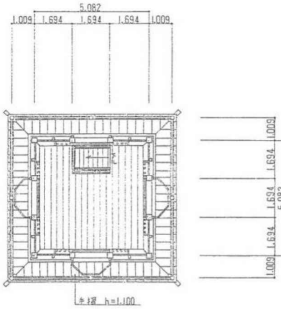


掛川城天守 写真

2 整備イメージ図



- ・天守漆喰壁を土佐漆喰で全面修復
- ・廻縁を立ち入りできるよう修復



屋上階平面図（廻縁含む）

掛川城外観図